



2022年4月21日

各位

会社名 藤久ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中松 健一  
(コード番号：7135 東証プライム・名証プレミア)  
問い合わせ先 企画部長 若園 和章  
(TEL 052-725-8815代表)

## 藤久ホールディングス株式会社による株式会社日本ヴォーグ社の 完全子会社化に関する株式交換契約締結 及び主要株主の異動に関するお知らせ

藤久ホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）及び株式会社日本ヴォーグ社（本社：東京都中野区、代表取締役：瀬戸 信昭、以下、「日本ヴォーグ社」という。）は、当社を株式交換完全親会社とし、日本ヴォーグ社を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という。）を行うことについて、2022年3月29日に当社と日本ヴォーグ社の間で締結された基本合意に基づき協議を行ってまいりましたが、本日開催の両社取締役会において株式交換契約（以下、「本株式交換契約」という。）の締結を承認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式交換は、当社及び日本ヴォーグ社それぞれの臨時株主総会において承認を受けた上で、2022年7月1日を効力発生日として行う予定です。

また、これに伴い当社の主要株主の異動が生じる見込みですので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### I. 本株式交換について

##### 1. 本株式交換の目的

当社は、2022年1月4日付で藤久株式会社（以下、「藤久」という。）の単独株式移転により設立された持株会社（完全親会社）であり、全国に手芸専門店「クラフトハートトーカー」等を約380店舗展開する業界トップの店舗ネットワークと、100万人を超える会員基盤を有する企業グループです。経営理念に『手づくり』を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ」を掲げ、当社グループの会員基盤、サービス・商品、店舗網と親和性の高い企業とのM&Aや戦略的提携を活用した迅速な成長戦略の遂行により業容拡大を目指しており、社会の変化や業界の変化に柔軟に対応しながら、持続的な企業価値向上に取り組んでおります。

一方で、当社が属する手芸業界においては、趣味の多様化や愛好者の高齢化を背景としたユーザーの減少、他業種からの参入による競争の激化もあり、経営環境は厳しさが増しております。また、新型コロナウイルス感染症拡大により個人消費のEC利用が加速し、小売店を取り巻く環境にも大きな変化を及ぼしています。

このような経営環境の中、当社グループでは、店舗とEC一体化型のビジネスモデル構築を重要な事業戦略と位置付けており、実店舗においては地域特性に応じたサービス・商品の提供により一層競争力を高める余地があるとともに、講習会事業を通じた実体験の機会を提供することが、顧客接点の強化に繋がると認識しております。

上記のような状況のもと、藤久は2021年5月13日にお知らせしたとおり、業界屈指の教室事業と出版事業を有する日本ヴォーグ社との業務提携を行いました。日本ヴォーグ社の教室事業は、全国規模で確立している講師ネットワークや講師資格取得講習等の教室運営により高い知名度を誇ります。また、本業である出版事業を背景に数多くの作品レシピデータを所有しています。これら日本ヴォーグ社の強みと、当社グループの会員基盤、全国店舗網、ECサイト運営といった強みを融合させ、新たな価値創造に向けて、「①手芸教室における協業」「②商品の企画、開発および販売における協業」「③顧客の相互送客」「④藤久店舗における日本ヴォーグ社コーナーの企画」を推進してまいりました。これまでに、手芸教室において日本ヴォーグ社の著名な講師によるオンライン講習会「ヴォーグ学園オンラインレッスン」の開催等を行い、業務提携の効果を上げております。

今回、当社および日本ヴォーグ社は、これまでの取組みをより深化・加速させ、役員の相互派遣等も含め、グループとして一体で、さらなる相乗効果を上げていくことの認識で一致いたしました。

人の価値観がモノからコトへ、コトからココロへと変化・多様化しておりますが、「手づくり」に込めた作り手の思いは、人と人を結び、ものを大切にするやさしさを醸成する大変尊いものだと考えています。当社グループの持つ全国網羅的なリアル店舗網やECでの多様なサービス・商品展開と、日本ヴォーグ社の持つ教室事業や出版物を通じた手づくり経験や楽しみの創造による相乗効果により、各々が持つ事業のさらなるシナジー効果を生み出し、手芸業界での強い競争力を獲得することは、今後の当社グループの一層の企業価値向上に資するものであると考えるに至り、本株式交換を実施することといたしました。

## 2. 本株式交換の要旨

### (1) 本株式交換の日程

基本合意承認取締役会（日本ヴォーグ社）	2022年3月28日
基本合意承認取締役会（当社）	2022年3月29日
基本合意締結日（当社・日本ヴォーグ社）	2022年3月29日
株式交換契約承認取締役会（当社・日本ヴォーグ社）	2022年4月21日
株式交換契約締結日（当社・日本ヴォーグ社）	2022年4月21日
株式交換契約承認臨時株主総会（当社・日本ヴォーグ社）	2022年6月13日（予定）
効力発生日	2022年7月1日（予定）

（注）上記予定は手続き進行上の必要性その他の理由により、変更される場合があります。

### (2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社とし、日本ヴォーグ社を株式交換完全子会社とする株式交換です。なお、本株式交換は、当社及び日本ヴォーグ社のそれぞれの株主総会決議により、本株式交換契約の承認を受けた上で、2022年7月1日を効力発生日として行う予定です。

### (3) 本株式交換に係る割当ての内容

	藤久ホールディングス株式会社 (株式交換完全親会社)	株式会社日本ヴォーグ社 (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る割当比率	1	57.806
本株式交換により交付する株式数	藤久ホールディングス普通株式：2,949,840株（予定）	

#### （注1）株式の割当比率

日本ヴォーグ社の普通株式1株に対して、当社の普通株式57.806株を割当交付いたします。なお、上

記の本株式交換に係る割当比率（以下、「本株式交換比率」という。）は、算定の根拠となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、両者協議の上、変更することがあります。本株式交換比率を変更することが決定した場合には、直ちに開示いたします。

（注2）本株式交換により交付する株式数

当社は、本株式交換に際して、当社普通株式 2,949,840 株を割当交付する予定です。なお、当社はかかる交付に当たり、新たに普通株式 2,949,840 株を発行する予定です。

なお、日本ヴォーグ社は本株式交換の効力発生日の前日までに開催する株主総会の決議により、日本ヴォーグ社が基準時の直前の時点において保有している自己株式（本株式交換に際して会社法第 785 条第 1 項の規定に基づいて行使される株式買取請求に係る株式の買取りによって日本ヴォーグ社が取得する自己株式を含みます。）の全部を、基準時の直前の時点をもって消却する予定です。本株式交換により割当交付する当社株式の総数については、日本ヴォーグ社による自己株式の取得・消却等の理由により、今後修正される可能性があります。

（注3）単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の単元未満株式（100 株未満の株式）を保有することとなる日本ヴォーグ社の株主においては、かかる単元未満株式を金融商品取引所において売却することはできませんが、本株式交換の効力発生日以降、当社の単元未満株式に関する以下の制度を利用することができます。

① 単元未満株式の買取制度（単元未満株式の売却）

会社法第 192 条第 1 項の規定に基づき、単元未満株主が当社に対し、保有されている単元未満株式の買取りを請求することができます。

② 単元未満株式の買増制度（100 株への買増し）

会社法第 194 条第 1 項及び当社定款の規定に基づき、当社が買増しの請求に係る自己株式を有していない場合を除き、保有する単元未満株式の数と合わせて 1 単元株式数（100 株）となる数の株式を当社から買い増すことができます。

（注4）1 株に満たない端数の処理

本株式交換に伴い、当社の普通株式 1 株に満たない端数の割当てを受けることとなる日本ヴォーグ社の株主に対しては、会社法第 234 条その他の関係法令の定めに従い、1 株に満たない端数に応じた金額をお支払いいたします。

（4）本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

（1）割当ての内容の根拠及び理由

当社は、下記（4）「公正性を担保するための措置」に記載のとおり、本株式交換の株式交換比率算定に当たり、公平性・妥当性を確保するため、株式会社ストリーム（以下、「ストリーム」という。）を第三者機関として選定し、ストリームによる株式交換比率の算定結果を参考にし、当社が日本ヴォーグ社に対して実施したデューデリジェンスの結果等を踏まえ、慎重に協議・検討した結果、本株式交換比率により本株式交換を行うことが妥当であると判断し、本日、両社それぞれで開催された取締役会において、本株式交換契約の締結を承認いたしました。

## (2) 算定に関する事項

### ① 算定機関の名称並びに両社との関係

ストリームは、当社及び日本ヴォーグ社から独立した第三者機関であり、当社及び日本ヴォーグ社の関連当事者には該当せず、本株式交換において記載すべき重要な利害関係を有しません。

### ② 算定の概要

当社については、金融商品取引所に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価分析（本株式交換契約の締結を承認した取締役会開催日の前日である2022年4月20日を算定基準日として、基準日までの直近1週間、直近1カ月間、直近3カ月間及び直近6カ月間における終値単純平均値を算定の基礎としております。なお、当社は2022年1月4日に藤久の単独株式移転により設立され、同日に上場しているため、直近6カ月間には、藤久の2021年10月21日から12月28日の数値を含めております。）による算定を行いました。

また、日本ヴォーグ社については、非上場会社であり市場株価が存在しないことから、日本ヴォーグ社の将来の事業活動の状況を算定に反映するため、ディスカунテッド・キャッシュフロー法（以下、「DCF法」という。）による算定を行いました。加えて貸借対照表上の資産及び負債を基礎として時価に基づく含み損益を反映させた純資産価額によって株式価値を評価する修正簿価純資産を基礎として株式価値の算定を行いました。

以上の結果、当社普通株式1株あたりの株式価値を1とした場合の算定結果は以下のとおりとなります。

採用方法		株式交換比率の算定結果
藤久ホールディングス株式会社(当社)	株式会社日本ヴォーグ社	
市場株価法	DCF法	49.41～65.28
	修正簿価純資産法	46.51～72.90

当社及び日本ヴォーグ社は、ストリームから提出を受けた株式交換比率の算定結果を踏まえて慎重に協議・検討を重ねてまいりました。その結果、当社及び日本ヴォーグ社は、本株式交換比率は妥当であり、それぞれの株主の利益を損ねるものではないとの判断に至ったため、本株式交換比率により本株式交換を行うこととしました。

## (3) 上場廃止となる見込み及びその理由

当社は、本株式交換において株式交換完全親会社となり、また、株式交換完全子会社となる日本ヴォーグ社は非上場会社であることから、該当事項はありません。

## (4) 公正性を担保するための措置

公正性を担保するための措置として、本株式交換の実施にあたり、当社及び日本ヴォーグ社から独立した第三者算定機関であるストリームに、日本ヴォーグ社の株式価値の算定を依頼し、その算定結果を参考にして、当社と日本ヴォーグ社との間で真摯に協議・交渉を行い、その結果合意された株式交換比率により本株式交換を行うこととしました。以上のことから、当社の取締役会は、本株式交換に関する公正性を担保するための措置を十分に講じているものと判断しております。なお、当社は、上記第三者算定機関から、公正性に関する評価（フェアネス・オピニオン）の取得はしていません。

(5) 利益相反を回避するための措置

取締役会において株式交換契約締結に係る決議を行う際に、利益相反の関係を有する取締役はおりませんでしたので、利益相反を回避するための特段の措置は必要ないと判断しております。

4. 本株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社																															
(1) 名称	藤久ホールディングス株式会社	株式会社日本ヴォーグ社																															
(2) 所在地	愛知県名古屋市中東区高社一丁目210番地	東京都中野区弥生町五丁目6番11号																															
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中松 健一	代表取締役社長 瀬戸 信昭																															
(4) 事業内容	グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務	出版事業、教育事業、通信販売事業、通信教育事業、インターネット事業、イベント事業																															
(5) 資本金	100百万円	40百万円																															
(6) 設立年月日	2022年1月4日	1958年1月11日																															
(7) 発行済株式数	12,301,000株	80,000株																															
(8) 決算期	6月30日	1月31日																															
(9) 従業員数(注1)	194名(2021年6月30日現在)	100名(2022年1月31日現在)																															
(10) 大株主及び持株比率(注2)	<table border="1"> <tr> <td>合同会社エメラルド</td> <td>22.85%</td> </tr> <tr> <td>GOTO株式会社</td> <td>13.72%</td> </tr> <tr> <td>後藤 薫徳</td> <td>13.40%</td> </tr> <tr> <td>藤久取引先持株会</td> <td>4.89%</td> </tr> <tr> <td>日本マスタートラスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信託銀行株式会社(信託口)</td> <td>3.82%</td> </tr> </table>	合同会社エメラルド	22.85%	GOTO株式会社	13.72%	後藤 薫徳	13.40%	藤久取引先持株会	4.89%	日本マスタートラスト		信託銀行株式会社(信託口)	3.82%	<table border="1"> <tr> <td>瀬戸 信昭</td> <td>13.73%</td> </tr> <tr> <td>瀬戸 信広</td> <td>7.59%</td> </tr> <tr> <td>瀬戸 高信</td> <td>6.94%</td> </tr> <tr> <td>瀬戸 みどり</td> <td>5.08%</td> </tr> <tr> <td>瀬戸 まり子</td> <td>3.16%</td> </tr> </table>	瀬戸 信昭	13.73%	瀬戸 信広	7.59%	瀬戸 高信	6.94%	瀬戸 みどり	5.08%	瀬戸 まり子	3.16%									
合同会社エメラルド	22.85%																																
GOTO株式会社	13.72%																																
後藤 薫徳	13.40%																																
藤久取引先持株会	4.89%																																
日本マスタートラスト																																	
信託銀行株式会社(信託口)	3.82%																																
瀬戸 信昭	13.73%																																
瀬戸 信広	7.59%																																
瀬戸 高信	6.94%																																
瀬戸 みどり	5.08%																																
瀬戸 まり子	3.16%																																
(11) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資本関係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>人的関係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>取引関係</td> <td>当社の完全子会社である藤久は日本ヴォーグ社と業務提携契約を締結しております。</td> </tr> <tr> <td>関連当事者への該当状況</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> </table>		資本関係	該当事項はありません。	人的関係	該当事項はありません。	取引関係	当社の完全子会社である藤久は日本ヴォーグ社と業務提携契約を締結しております。	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。																							
資本関係	該当事項はありません。																																
人的関係	該当事項はありません。																																
取引関係	当社の完全子会社である藤久は日本ヴォーグ社と業務提携契約を締結しております。																																
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。																																
(12) 最近3年間の経営成績及び財政状態	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">決算期</th> <th colspan="3">藤久ホールディングス株式会社 (個別) (注1)</th> <th colspan="3">株式会社日本ヴォーグ社 (個別)</th> </tr> <tr> <th>2019年 6月期</th> <th>2020年 6月期</th> <th>2021年 6月期</th> <th>2020年 1月期</th> <th>2021年 1月期</th> <th>2022年 1月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>純資産</td> <td>7,107</td> <td>8,880</td> <td>9,333</td> <td>1,214</td> <td>1,301</td> <td>1,347</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>12,722</td> <td>14,430</td> <td>13,535</td> <td>4,488</td> <td>4,390</td> <td>4,231</td> </tr> </tbody> </table>						決算期	藤久ホールディングス株式会社 (個別) (注1)			株式会社日本ヴォーグ社 (個別)			2019年 6月期	2020年 6月期	2021年 6月期	2020年 1月期	2021年 1月期	2022年 1月期	純資産	7,107	8,880	9,333	1,214	1,301	1,347	総資産	12,722	14,430	13,535	4,488	4,390	4,231
決算期	藤久ホールディングス株式会社 (個別) (注1)			株式会社日本ヴォーグ社 (個別)																													
	2019年 6月期	2020年 6月期	2021年 6月期	2020年 1月期	2021年 1月期	2022年 1月期																											
	純資産	7,107	8,880	9,333	1,214	1,301	1,347																										
総資産	12,722	14,430	13,535	4,488	4,390	4,231																											

1株当たり 純資産(円) (注3)	845.20	721.98	758.82	15,182.06	16,264.52	16,841.39
売上高	18,939	22,349	20,694	3,743	3,146	3,075
営業利益 又は営業損失	△1,532	883	900	△10	65	30
経常利益 又は経常損失	△1,516	749	911	△23	53	23
当期純利益 又は当期純損失	△2,919	282	757	△7	87	50
1株当たり当期 純利益 又は1株当たり 当期純損失(円) (注3)	△347.21	32.26	61.55	△99.26	1,094.96	629.31
1株当たり 配当金(円) (注4)	—	25.00	32.00	—	25.00	25.00

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

- (注1) 藤久ホールディングスは2022年1月4日設立のため、従業員数、経営成績及び財務状態は、藤久の数値を記載しております。
- (注2) 藤久ホールディングスの大株主及び持株比率は、藤久の2021年12月31日現在の情報を記載しております。  
日本ヴォーグ社の数値は、2022年1月31日現在の情報を記載しております。
- (注3) 藤久は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
- (注4) 藤久は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

#### 5. 本株式交換後の状況

(1) 名称	藤久ホールディングス株式会社
(2) 事業内容	グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
(3) 所在地	名古屋市名東区高社一丁目210番地
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中松 健一
(5) 資本金	100百万円
(6) 純資産	現時点では確定していません。
(7) 総資産	現時点では確定していません。
(8) 決算期	6月30日

- (注1) 本株式交換により新たなグループ体制となることから、今後の新事業への展開や将来ビジョンを見据えた商号変更を検討しております。
- (注2) 2022年6月13日開催予定の当社臨時株主総会及び2022年7月1日開催予定の当社臨時取締役会に

において承認されることを前提とし、かつ本株式交換の効力発生を条件として、2022年7月1日付で瀬戸信昭氏（現日本ヴォーグ社代表取締役社長）が当社取締役会長に就任予定です。なお、現職は本株式交換の効力発生後も継続する予定です。

（注3）本株式交換の効力発生を条件として、藤久と日本ヴォーグ社間で役員の相互派遣を数名予定しております。

## 6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、「企業結合に関する会計基準」における「取得」に該当いたします。なお、本株式交換に伴い発生するのれん（または負ののれん）の金額に関しては、現時点では未確定であります。

## 7. 今後の見通し

本株式交換は2022年7月1日に効力発生予定のため、本株式交換が当社の2022年6月期連結業績に影響を与えるものではありませんが、来期以降の業績見通し等を含む中期経営計画につきましては、今後策定の上、2022年8月頃を目途に発表を予定しております。

## II. 主要株主の異動について

### 1. 異動が生じる経緯

本株式交換の実施に伴い、日本ヴォーグ社の筆頭株主である瀬戸信昭氏は、当社の普通株式を取得することにより、当社の主要株主に該当することとなりました。

### 2. 異動する株主の概要

(1) 氏名	瀬戸 信昭
(2) 住所	東京都文京区

### 3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数（総株主の議決権の数に対する割合）			大株主 順位
	直接所有分	合算対象分	合計	
異動前 (2021年12月31日現在)	24個 (0.02%) (普通株式 2,400株)	—	24個 (0.02%) (普通株式2,400 株)	—
異動後	6,374個 (4.18%) (普通株式 637,456株)	10,528個 (6.91%) (普通株式 1,053,108株)	16,902個 (11.09%) (普通株式 1,690,564株)	第4位

（注1）異動前の総株主の議決権の数に対する割合は、2021年12月31日現在の藤久の発行済株式総数12,301,000株から、同日現在の議決権を有しない株式数5,000株を控除した総株主の議決権の数122,960個を基準としております。

（注2）異動後の総株主の議決権の数に対する割合は、2020年12月31日現在の藤久の発行済株式総数12,301,000株から、同日現在の議決権を有しない株式数5,000株を控除した総株主の議決権の数122,960個に、本株式交換により発行する新株式に係る議決権の数（29,492個）を加えた数である

152,452個を基準としております。

(注3) 総株主の議決権の数に対する割合は、小数点以下第3位を四捨五入しております。

(注4) 上記の「異動後」の「合算対象分」は、瀬戸信昭氏の近親者である瀬戸信広氏、瀬戸高信氏、瀬戸みどり氏及び瀬戸まり子氏が、本株式交換の実施に伴い取得する見込みである当社株式に係る議決権の数の合計です。

(注5) 大株主順位については、合算対象分を含めない直接所有分の「総株主の議決権の数に対する割合」を基準として順位をつけており、2021年12月31日時点の藤久の株主名簿を基準として、当社において現時点において想定したものです。

#### 4. 異動予定年月日

2022年7月1日

#### 5. 今後の見通し

今回の異動による業績への直接的な影響はありません。

以上